

【授業の到達目標および概要】

労働安全衛生は職場の基本的な課題として、ますます重視されている。快適な職場で安全で健康に働く、そして達成感のある仕事を通して社会的な貢献をはかり、よりよい職業生活を促すことは勤労者共通の願いである。就労構造や疾病構造、技術革新の進展など勤労者の職場環境を取り巻く状況が大きく変化している中で、職場の安全衛生に実践的に取り組む分野としてこの特論を位置づけている。受講者には積極的に討論に参加して頂き、問題解決志向型の方法論を理解することを目標とする。

【授業計画】

- ①② 労働安全衛生マネジメントシステムの手法と活用
- ③④ 職場改善チェックリストの活用と作成
- ⑤⑥ 作業関連疾患と健康増進対策
- ⑦⑧ 作業管理と改善対策
- ⑨⑩ 作業環境管理と改善対策
- ⑪⑫ 職場メンタルヘルス対策、筆記試験
- ⑬～⑮ まとめ

【授業外学習】

授業時に行ったワーク、課題について、レポートを作成して提出する。

【成績評価の方法・基準】

出席状況、授業の際に発表した内容、討論への参加、および筆記試験により評価を行う。

【教科書】

特に指定しない。随時プリント・資料を配布する。

【参考書】

特に指定しない。随時必要な文献情報は提示する。

【教材】

随時、筆者らが企画に参加した安全衛生ビデオを使用する予定。

【備考】

より多くの院生が、探究心と研究心を磨くため、この講義を履修して頂くことを期待している。